

平成 22 年度

赤土小学校のグランドデザイン

～ 頭と心と体のバランスのよい成長を目指す学校づくり～

未来を拓き、たくましく生きる子どもの育成

学校教育目標 ○よく考え、実行する子【重点】 ○思いやりのある子 ○元気な子

関係諸機関

- ・文部科学省学校評価ガイドライン
- ・国立教育政策研究所の評価規準
- ・東京都教育委員会目標と重点施策
- ・荒川区教育委員会学校パワーアップ事業
- ・区教育センター・教育相談室事業
- ・三峽教室・四峽教室への通級学習

荒川区教育ビジョン

- 子ども一人一人の可能性を伸ばす
- 豊かな感性や創造力を育む
- 社会的自立の基礎を培う

保護者

学校との交流・連携

- ・家庭学習頑張り週間(年4回)
- ・あいさつ運動(学期毎)・授業診断
- ・放課後学習教室ボランティア・学校公開
- ・授業参観・朝と放課後遊び看護
- ・保護者会・懇談会・こども祭り
- ・学年親子レク・ピロポロ大会
- ・もちつき大会・給食試食会

安全・厚生・文化委員会

- ・安全マップの作成、見直し
- ・自転車講習会・緑日パトロール
- ・AED講習会・自転車講習会
- ・ラジオ体操・朝の読み聞かせ

なでしこクラブ(ブックボランティア)

- ・図書館装飾・本の修理
- ・書架の整理・図書館美化
- ・読書バイキング・蔵書点検
- ・読み聞かせ・ブックトーク

地域との交流・連携

- ・母親教室・社会を明るくする運動
- ・地区別研修会・社明パレード
- ・尾久っ子ワクワクまつり
- ・尾久地区ピロポロ大会
- ・九中盆踊り大会・チャレンジサタデー

子ども

頭	◎自ら考え、ともに学び合う子の育成 ～理科・生活科の授業実践を通して～ 自然事象への関心意欲の喚起・問題解決能力の育成 習得・探究・活用	
	◎基礎的・基本的な力の育成 聞く・話す・読む・書く・計算する(各教科に共通して働く力) 習熟	
心	◎自他の命を大切にすることの育成	◎自らの体力の向上
	○互いのよさを認め合う子どもの育成 ○自己効力感(やりがい感)を高める	

校長・副校長のリーダーシップ グランドデザイン、組織、教育課程づくり
「東京都スポーツ教育推進校」としての教育実践

教師

実態把握 ・生活意識に関する調査 ・学習意識に関する調査 ・発育測定・泳力検定 ・算数事前診断テスト ・学習到達度調査 ・各種学習体力テストワーク	指導法の工夫 ・3～6年算数習熟度 ・1、2年生算数TT ・情報メディア活用指導 ・電子黒板やIT機器の活用 ・発問、板書、ノートの効果的活用	授業力の向上 ・全教員による実践授業と実技研修(公開授業-1年1回以上)(研究授業全体会年6回) ・区授業づくり研・教師養成講座 ・研究分科会・教師道場	体育的活動の充実 ・マラソン週間 ・大縄、なわとび集会 ・体育備品の充実 ・朝遊び・放課後遊び ・体育的クラブ活動 ・日常的な行進練習
学校行事の充実 ・運動会(春の実施) ・展覧会 ・学芸会 } 3年周期 ・音楽会(今年度) ・児童文化教室	長期休業中の指導 ・夏季水泳教室(18日間) ・サマースクール ・夏季施設(下田・清里)	安全面 ・健康便り発行・安全点検 ・一斉下校・引渡し訓練 ・避難訓練・新型インフルエンザ対応訓練 ・登校時看護当番・安全指導 ・地域巡り・給食指導	組織による協働 ・組織目標の明確化 ・四部会と常設委員会の組織 ・問題発生への全校体制対応 ・特別支援体制の充実 ・特別委員会の設置
		その他 ・土曜スクール ・日本語検定 ・朝読書と図書館活用タイム ・放課後学習 ・週計画提出	

地域

学校評議員会・学校評価委員会

- ・教育活動の計画および実践における助言や支援(人材活用含む)・有識者による指導助言
- ・家庭、地域、学校間の連携にかかわる助言や支援
- ・教育活動の参観、学校行事への参加と診断評価
- ・環境美化、防災、児童の安全確保に関する活動

体験学習

- ・地域の社会、自然、人材の開発(尾久の原公園、尾久銀座商店街、職人教室、めざせナチュラリスト、お話ポケット)

公共機関

- ・町屋図書館、配本読み聞かせ・租税教室
- ・薬物乱用防止教室・自転車交通安全教室
- ・セーフティー教室・水道キャラバン等

幼・保との連携

- ・体験給食や入学・入学前保護者会
- ・行事の交流・お話ボランティア
- ・教職員交流・職場体験活動

中学との連携

- ・九中 体カトレーニング
- ・小中交流会(授業参観)
- ・生活指導連絡会
- ・出前授業・部活見学

安全

- ・登下校時見守り当番(町会)